

春日部市春日部消防団第1分団
消防ポンプ自動車CD-I型

仕様書

令和6年度
春日部市消防本部

春日部市春日部消防団第1分団 消防ポンプ自動車CD-I型仕様書

第1 総 則

1 目的

この仕様は、春日部市消防本部（以下「消防本部」という。）が、令和6年度に購入する春日部市春日部消防団第1分団消防ポンプ自動車CD-I型の仕様書について必要な事項を定める。

- (1) 購入品目 消防ポンプ自動車CD-I型
- (2) 購入台数 1台
- (3) 納入期限 令和7年3月21日（金）
- (4) 納入場所 春日部市谷原新田2097番地1
春日部市消防本部

2 規格

- (1) 道路運送車両法（昭和26年法律第185号）、道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）及び埼玉県生活環境保全条例（平成13年条例第57号）に規定する排出ガスに係る最新の基準に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。
- (2) 車体は、常時登録された車両総重量の状態において、十分耐え得るものであること。また、車体の艤装材料は、JIS（工業標準化法（昭和24年法律第185号）第17条第1項の日本工業規格をいう。以下同じ。）G3101（一般構造用圧延鋼材）またはこれと同等以上の強度及び耐久性を有するものを使用していること。
- (3) ポンプの艤装材料は、動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和61年自治省令第24号）の規定に適合するものであること。
- (4) ホースの結合用ネジ部の艤装材料は、消防用ホースに使用する差込式または、ねじ式の結合金具及び消防用吸管に使用するねじ式の結合金具の技術上の規格を定める省令（平成25年総務省令第23号）の規定に適合するものであること。
- (5) ポンプ性能は、駆動エンジンが工率74kw（100ps）以上のものにあつてはA-2級以上であること。
- (6) ポンプ室両側に、ボール式コック付75mmの吸水口を設け、吸水口には75mmエルボが取り付けられていること。
- (7) ポンプ室両側に、ボール式コック付65mmの放水口及び中継吸口が設けられていること。なお、ボールコックにはドレンバルブを排水装置とし、操作し易い場所に取

り付けること。また、中継吸口にはアルミ製のクサリ付き差し込みオスキャップ及びキャップ受けを取り付けること。

(8) 艀装材料の厚さは次によるものとし、フローステップ、バンパー上部、リアフェンダー上部、その他必要とする部分は縞鋼板であること。

① 側板 1. 6mm以上

② サイドエプロン 1. 2mm以上

③ フェンダー 1. 0mm以上

(9) 車室は、堅ろうな天蓋及びドアを有すること。

(10) 乗車定員は6名とし、安全に乗車できる座席を設けること。

(11) 乗車人員の乗降時及び走行時における安全の確保に必要な握り棒、手すり及び安全帯を設けること。

(12) 資機材及び器具の収納に必要な格納箱等を設けてあること。

(13) 消防用ホース（結合金具を除く。）の規格は、消防用ホースの技術上の規格を定める省令（平成25年総務省令第22号）によること。

(14) 消防ポンプ用ホース、吸管、ノズル等の結合金具の規格は、消防用ホースに使用する差込式又はねじ式の結合金具及び消防用吸管に使用するねじ式の結合金具の技術上の規格を定める省令（平成25年総務省令第23号）によること。

(15) 吸管（結合金具を除く。）の規格は、消防用吸管的技術上の規格を定める省令（昭和61年自治省令第25号）によること。

(16) 製造工場については品質管理システムを構築していること。

(17) 製作に当たっては、この仕様書を十分に満たすほか、受注者は消防本部の要望を十分取り入れること。なお、この仕様書に明記されていないものは、メーカーの公表した仕様とすること。

(18) 仕様書に疑義が生じた場合は、すべて消防本部の指示を受けるものとするが、仕様の変更を伴うことについては、双方協議のうえ変更承認図を消防本部に提出し承認を得ること。

(19) 受注者は、製作全般にわたり厳重な検査を実施すること。

(20) 受注者は、設計、製作、材料、部品等に関し、特許その他権利上の問題が発生した場合には、その責任を負うこと。

3 提出図書、書類等

(1) 契約締結後、次の図書をA4版に編冊し、消防本部に2部提出するとともに承認を受けること。

① 製作工程表

- ② 製作承認図（前面、後面、両側面、上面）
- ③ 電気配線図（シャシ関係、艀装関係）
- ④ 配管図
- ⑤ その他指示あるもの

（２）完成車の納入時に、次の図書をA４版に編冊し、消防本部に２部提出すること。

- ① 完成図
- ② シャシ、エンジンの点検書
- ③ 車両の取扱説明書
- ④ ポンプの取扱説明書
- ⑤ ポンプサービスマニュアル
- ⑥ ポンプパーツリスト
- ⑦ ポンプ性能試験成績表
- ⑧ 艀装重量、車両重量及び車両総重量の加重分布計算書
- ⑨ 各種保証書
- ⑩ 工程写真
 - ・製作中各工程（シャシ、組立中、塗装後）
 - ・試験実施工程（放水試験、転覆角度試験、重量実測試験等）
- ⑪ ポンプ鑑定合格プレートの写し
- ⑫ 安全基準適合プレートの写し
- ⑬ その他、消防本部が指定するものとする。

４ 検査

受注者は、製作工程表に基づき、次の検査を受けること。

（１）中間検査

受注者は、車両の製作工程中に書面にて受検の申請を行い、製作工場等において消防本部の中間検査を受けるものとする。

（２）竣工検査

受注者は、車両の完成時に書面にて受検の申請を行い、消防本部において完成車、付品、附属品、積載品等の全てについて消防本部の竣工検査を受けるものとする。

なお、不相当と認められた箇所は、消防本部の指定する日までに無償で修理または取り替えを行うこと。

5 納車

- (1) 完成車は、関東運輸局埼玉陸運支局の行う車体検査及び新規登録を受け、各部の点検、調整、清掃、手入れ等を十分に行ったうえ納車すること。
- (2) 完成車の登録に要する諸経費（自賠責保険料、重量税及びリサイクル費用）は、受注者が立替払いとし、納車後に発注者に請求するものとする。
- (3) 更新する車両の廃車手続き等は、発注者が行うものとする。
- (4) 車両登録時における自動車登録番号は、『11-19』とする。
- (5) シャシ及び積載品のうち発電機等のエンジン類には、すべてオイル等を給油し、燃料はタンク容量の上限まで給油しておくものとする。

6 保証期間

保証期間は、納車後12ヶ月間とする。

また、資機材等のメーカー保証が12ヶ月よりも長期の場合は、メーカー保証期間を優先すること。

なお、保証期間後においても設計不良、工作不良あるいは材質不良に起因する故障及び使用に際して支障が発生した場合は、無償にて修理または取り替えを行うこと。

7 技術指導

受注者は、車両納車後、消防本部が指示する日時に指導員を派遣し、技術指導をすること。

8 その他

- (1) 本仕様書は、本車製作上の基本事項を述べたものであり、これに定めていない事項についても、本車の機能上及び操作上必要と思われるものは、これらの取り付け等を受注者の責任において良心的に施工すること。
- (2) 積載装置等の作製においては、現物に合わせて作製することを原則とし、本車の機能が十分発揮できるよう、受注者は相互に協力すること。

第2 シャシ及び艀装仕様

1 主要諸元

- (1) 全 長：5, 450 mm以下
- (2) 全 高：2, 400 mm以下
- (3) 全 幅：1, 900 mm以下
- (4) 車 両 重 量：3, 500 kg 未満
- (5) ホイルベース：2, 545 mm以下
- (6) 車 の 型 状：トヨタ ダイナ
1.0 t級 ガソリンエンジン
- (7) 乗 車 人 員：6名（前席3名、後部席3名）
- (8) 動力伝達装置：オートマチックトランスミッション
- (9) 駆 動 方 式：二輪駆動
- (10) ステアリング：パワーステアリング（エアバッグ付）

2 エンジン

- (1) 型 式：水冷4サイクルディーゼルエンジン
- (2) 最高出力（消防検定出力）：97 kw以上

3 装備取付品

- (1) 安全装置機能付きフルパワーPTO
- (2) バッテリー：80D26L
- (3) オルタネータ：12V-80A以上
- (4) サブクーラー
- (5) エンジン回転計
- (6) エンジン油温計
- (7) メインスイッチ
- (8) キーレスリモコン（1個以上）
- (9) けん引用フック
- (10) オイルパンヒーター（10mコード・バッテリー充電器兼用型）
- (11) オールシーズン用ラジアルタイヤ×6本
- (12) ホイール付スペアタイヤ×1本
- (13) 手動式2面鏡ミラー（運転席側）
- (14) 電動格納式2面鏡サイドミラー（助手席側）
- (15) 後退警報器 ※電子サイレンアンプにて対応可

- (16) LEDヘッドランプ
- (17) LEDフォグランプ
- (18) サイドバイザー
- (19) フロントフェンダーカバー
- (20) 泥除け（全輪）
- (21) エアコン
- (22) ドライブレコーダー（モニタ付）
- (23) バックアイモニター・カメラ
- (24) 運転席と助手席のステップは、樹脂製又はアルミ製の網目とする。
- (25) 運転席側と助手席側のフェンダー部とカマチ部に、プロテクタを設けること。
- (26) LED後輪灯及びLED車幅灯を左右見やすい位置に取り付け、LED後輪灯については堅牢な保護枠を設ける。
また、スイッチはスモールと連動させること。
- (27) ナンバーは、保護枠付きとする。
- (28) 消防団章（メッキタイプ）を車両前部中央に取り付ける。
- (29) ドア4箇所側面に夜行シール（黄色）を貼る。
- (30) ドア4箇所付近に昇降用握り棒を設ける。
- (31) 外部に露出している金具類は、全て良質のクロームメッキとする。
- (32) 各機器の取り付けボルトは、ステンレスの袋ナットを使用する。
- (33) 縞板は全てアルミ縞板とする。
- (34) 取り付け部分及びつなぎ目は、雨水等が入らないように防水措置を講じる。

4 キャビン

(1) 赤色警光灯

- ① 散光式警光灯（電動サイレン搭載仕様〔台座又は自在金具付〕）をキャブ上部に取り付ける。（大阪サイレン製 NF-ML-VK2M-LA1）
- ② 赤色点滅灯2個（WHELEN製M2WFCR又は同等品）を車両前部グリル付近に取り付け、スイッチは赤色警光灯と連動させること。（別途協議）
- ③ 赤色点滅灯2個（大阪サイレン製 LFA-100 プロテクター付）を車両後部左右に取り付け、スイッチは赤色警光灯と連動させること。

(2) 拡声装置等

- ① 電子サイレンアンプ（マイク付）を取り付け、音声スイッチは助手席と運転席の中間に取り付ける。

なお、スピーカーは、散光式警光灯と一体のものを使用する。

② 車載無線機本体及び散光式警光灯等の特装部のスイッチ類（絵図又は名称入り）をダッシュパネル付近の棚に集合させコンパクトにまとめること。

なお、表示灯は夜間の運転に支障をきたさない照度又はカバー（自在式）を取り付ける。

また、車種により取り付け不能な構造にあっては、別途協議する。

- (3) 標識灯は、散光式警光灯と一体のものを取り付け、スイッチはスモールと連動させること。（パネル黄色）
- (4) 電動サイレンは、散光式警光灯に内蔵されたものとする。（スイッチは足踏み式とし保護カバー付とする）
- (5) カーラジオを設ける。
- (6) 室内にフロアマットを設ける。（前後席一式）
- (7) LED室内灯（シャシ純正品）を設ける。
- (8) フレキシブルライト（LEDマップライト）を助手席側に設ける。
- (9) 前座席後部に、強固なステンレス製の仕切りパイプを取り付ける。（仕切りパイプにS字フックを5個取り付ける）
- (10) 仕切りパイプに地図等の資料入れボックスを取り付ける。（ステンレス製等）
- (11) 後部座席背部にヘルメット掛用フックを取り付ける。（5個）
- (12) 乗降用握り棒をキャビン両側に各2個取り付ける。（ボデーと同色）
- (13) 旗立てポール受け台は、車両左側に取り付ける。（旗は、別途協議）

5 ポンプ装置

(1) 型式及び性能

ポンプ型式	高圧一段ポリユートポンプ又は 高圧二段バランスタービンポンプ
ポンプ性能	A-2級
	送水圧力0.85MPaにおいて放水量2,000L/min以上
	送水圧力1.40MPaにおいて放水量1,400L/min以上

- (2) ポンプ動力装置は、クラッチハウジングとトランスミッションの間にポンプミッションを取り付け、操作は運転席の押しボタンなどにより動力の接断ができるものとする。
- (3) ポンプ装置は、特に高圧性能に重点を置き、設計、製作をするものとし、あらゆる回転状況、吸水落差、放水量及び放水圧力においても震動、高発熱、異常音及び漏水等のない構造とする。
- (4) 主ポンプ伝導装置は、主ポンプ伝導と走行用ミッションへの動力を任意に切り

替えられる構造とする。

- (5) ポンプ材質は車体全体の軽量化を考慮し、アルミ製とすること。但し、砂利等の混入にも対応できるような強度、耐腐食性も考慮し、インペラは青銅鋳物製（CAC製）とすること。
- (6) グランド部はグリスレスのメカニカルシールとし、不凍液やオイル等の継ぎ足しも不要な構造とすること。尚、軸先端部もグリスレスのこと。
- (7) 真空ポンプ（MPDV-90型）
 - ① 自動揚水装置付きとし、無給油式とする。（確認用モニタ付）
 - ② 操作は押しボタン式スイッチによるものとし、駆動装置は円滑に作動し、揚水完了後は自動的に停止する構造とする。
 - ③ 真空性能は、吸管外端閉塞にて30秒以内に大気圧の84%となること。
- (8) 各配管は残水しない構造とし、排水装置は操作しやすい場所に設ける。
- (9) ポンプ室は、全密閉式とし、点検及び手入れに便利な構造とする。
- (10) ポンプ圧力計、連成計、真空計をポンプ室左右側板の計器盤上に各1個取り付ける。（LED照明灯付）

6 安全機能装置付きポンプ操作装置

- (1) ポンプ操作装置は、操作員が容易、かつ、安全に操作できる構造とし、一つの操作盤で全てが行えるものとする。
- (2) 圧力計・連成計（リタード式）は、電子式（透過光照明灯・ゲージ部作動確認ランプ付）とし、振動等でも針振れがない構造とする。
- (3) ポンプスロットルは電子式スロットルとし、左右どちらでも同方向に回転することによってエンジン回転速度を上げ下げできるものとする。
- (4) ポンプスロットルは、誤作動を防止するための安全ロック機能を設ける。
- (5) PTOが繋がっていない場合は、全てのスロットルダイヤルを操作してもエンジン回転操作が出来ない構造とする。
- (6) 多目的表示液晶ディスプレイは操作盤の中央とし詳細は以下のとおりとする。
 - ① 取扱表示（機器取扱・点検整備・故障対策等）を文章で表示ができること。
 - ② モニタ表示（警告モニタとして冷却水及び真空ポンプ作動タイムに対する警告表示ができ、かつ、警報ブザーが鳴るようにすること。また、各ボールロックの開閉状況、揚水・放水の状況確認のできるモニタ表示、ポンプ回転計・ポンプ圧力計・ポンプ連成計・流量計を各々デジタル数値により表示（モニタ表示）ができること。）
 - ③ 流水表示（各ボールロックの開閉状況、ポンプの運転状況及び放水時における

る水の流れる状況が把握できる流水表示ができること。)

(7) ディスプレー内の各表示切換は、スイッチパネル式により行えるものとする。

液晶パネルは視認性を考慮し、日中活動時の視認性を確保すること。

(8) 真空ポンプ操作は、非常時に手動操作にて行えるものとする。

(9) ポンプ操作装置には、隊員の安全を確保するため、次の安全機能を設ける。

① スロットル固定機能

不用意にスロットルに触れてもエンジン回転の上昇を防ぐようスロットル固定機能を設ける。ただし、固定した場合でも安全方向（スロットルダウン）には操作できるものとする。

② スロットルインターロック

P T Oがつながっていない場合は、全てのスロットルダイヤルを操作してもエンジン回転操作ができない構造とする。

③ 流量計色分け表示

操作盤表示の流量計については、車体の左右に関わらず、両側面の放水口の流量が確認できること。また、流量の表示は、放水操作時の目安となるように、流量によって表示色が変化するなどの見分けられる構造とすること。

④ 緊急減圧機能

左右操作盤にボタン式の緊急減圧スイッチを設け、ボタン作動時は即座にエンジン回転を下げ、水吐出圧力を減圧する構造とすること。

⑤ 吸水圧力警報機能

高落差またはちりよけ籠等詰まりによる吸水量不足で起こるキャビテーションの発生時、吸管の浮きによる空気混入、ドレンや吸水側配管に気密漏れがある場合、バイパス操作時等、スロットルを上昇させているにも関わらず圧力が増加しないまたは圧力が降下する場合には、操作員が正確な対処を行える事及び、水ポンプの破損防止の観点からポンプ操作画面内に警告を表示し、また警報も発すること。

7 資材庫

(1) ボックス（防水型）

① 車両左右は跳ね上げ式の扉付き収納庫とし、間口には脱落防止用の上下可動式1段手摺、中央部には取り外し式2段パイプを設け、ホースなどを収納できる構造とすること。

また、アルミボックスを設け、左右から取り出せるようにすること。

② 車両後部はアルミバーシャッター式の収納庫とし、1段の可動式の棚で仕切

ること。可動式の棚の開口には脱落防止用の可動式1段手摺内部を設けること。
また、下段には投光器関係を収納すること。

- ③ ボックスのサイズは最大限とし、水抜き及び水切りを設けるとともに、樹脂製のスノコを敷くこと。
- ④ ボックス内にLED照明灯を設け、機能を損なわない範囲で保護カバーを設ける。
- ⑤ LED照明灯は、シャッターを開けたときに点灯する構造とし、メインスイッチはダッシュパネル付近の棚に取り付ける。
- ⑥ ポンプ室付近に車外無線送話機の固定装置を設ける。

(2) ステップ類及びポンプ室天井はアルミ製縞板とし、縁はプレスする。

(3) 後部タイヤハウス上をアルミコスジ板とし、縁はプレスする。

(4) ポンプ室上部の前方及び左右に、1段手摺を設けること。

(5) ポンプ室上部には、濡れホース収納用の2段手摺を設けること。

(6) ポンプ室右側側面に二連はしご(4.2m)を取り付ける。

(7) 車両後部左側に展開式の昇降用のモドム・プルステップを設けること。

(8) ホース延長用資機材

車体後部に加納式のホース延長用資機材を積載する。(65mm×20mホース6本が積載並びに無反動管そう1本及び分岐管を取り付ける。)

(9) ポンプ室前方右側に照明灯(MYS-75LP)及び車体後方左側に作業灯(MYS-75LP)を各1個取り付ける。

(10) とび口、おの、掛矢、スタンドパイプ及び各キャップ受け台等の固定装置を取り付ける。(取り付け位置は別途協議)

(11) その他ボックス及び取り付け品等は、別途協議のうえ取り付ける。

8 塗装

(1) 塗装に関しては、完全な防錆加工を施し、磨き出し仕上げを行うものとし、塗装色は朱色すること。

(2) キャビンドア等の塗装については、ゴム類等を外し塗装すること。

(3) 車体下回りは、黒色塗装とする。

9 指定文字記入(文字は丸ゴシック体で大きさは別途協議)

(1) キャブドア左右 : 『春日部市春日部消防団第一分団』

(2) 後部ボックス扉 : 白文字で『春1分団』

(3) 標識灯(パネル黄色) : 黒文字で『春1分団』

- (4) ホース延長用資機材：白文字で『春1分団』
- (5) 附属品、装備品等：発電機、投光器、筒先、とび口等に『春1分団』
- (6) 白文字と黒文字で『春1分団』シールを用意すること。（枚数等は別途協議）

10 消防専用電話装置に係る周辺装置

別途設置する予定である車載用デジタル無線機に対応すること。

(1) 機器構成

① 600号送受話器	3個
② 同上接栓付掛金具	3個
③ ボックススピーカー	1個
④ トランペットスピーカー	2個
⑤ 通話切替機	1個
⑥ コード類(同軸・電源)	一式

(2) 施行基準

取り付け工事は、仕様書のとおりとし消防本部と十分打ち合わせを行うこと。

- ① キャビン上部の後方に、デジタル無線対応のアンテナ取り付けを考慮したN型接栓を有する2本の同軸ケーブルを天井内張りに通して配線しておき、同軸ケーブル長についてもキャビン内に別途設置する予定である車載用デジタル無線機に接続するための十分な余長を有すること。なお、使用する同軸ケーブルは5D-2V以上とし、キャビン内ケーブルにもN型接栓を有しておくとともに、ケーブル名を明示しておくこと。（別途協議）。
- ② ボックススピーカーはキャビン内、車両外部左右側面にはトランペットスピーカーを取り付けることとし、その取り付け位置は車両運用上及び消防活動上支障のない場所とし、キャビン内に別途設置する予定である車載用デジタル無線機に接続するための十分な余長を有する配線とし、配線端末処理を施すとともに配線名を明示しておくこと。（別途協議）
- ③ 電源はヒューズボックスから取り出し、他に設置される電子機器等へのノイズ混入軽減のため、アースボンディングを施し必要に応じてノイズフィルター等を取り付けることとし、キャビン内に別途設置する予定である車載用デジタル無線機に電源を供給するための十分な太さ及び余長を有する配線とし、配線端末処理を施すとともに配線名を明示しておくこと。（別途協議）

第3 取り付け品等

別表3から別表7のとおりとする。

別表1 シヤシ

No	品名	型式・規格	数量	単位	備考
1	シヤシ	CD-I型 消防専用シヤシ	1	台	

別表2 艤装

No	品名	型式・規格	数量	単位	備考
1	艤装	取付け込み	1	式	

別表3 取付品及び取付装置

No	品名	型式・規格	数量	単位	備考
1	ポンプ圧力計		2	個	
2	ポンプ連成計		2	個	
3	エンジン回転計		1	個	
4	エンジン油温計		1	個	
5	赤色警光灯	キャブ上部：大阪サイレン製 NF-ML-VK2M-LA1 車両後部：大阪サイレン製 LFA-100 プロテクター付	1	式	
6	電子サイレン	大阪サイレン製 TSK-D151	1	式	
7	照明灯	LED75W	1	式	
8	後退警報器		1	式	
9	標識灯	赤色警光灯と一体（パネル黄色）	1	個	

別表4 軽微な変更として備えることができる取付品及び取付装置

No	品名	型式・規格	数量	単位	備考
1	電動サイレン	赤色警光灯に内蔵・足踏式スイッチ式	1	式	
2	オイルパンヒーター	コード10m・バッテリー充電器兼用型	1	式	
3	不凍液注入装置		1	式	
4	作業灯	LED75W	1	個	
5	車外無線送話機取出口	左右各1個	1	式	

別表5 備えなければならない附属品

No	品名	型式・規格	数量	単位	備考
1	吸 管	サクラ消防用スーパーデラックスソフト吸管、75mm×10mうずまき形黄色マーキング入り	2	本	
2	吸口ストレーナー		2	個	
3	吸管ストレーナー	ストカゴ セット3	2	個	
4	吸管ちりよけ籠	吸管ストレーナーに含む	2	個	
5	吸管まくら木	ゴム製	2	個	
6	吸管ロープ	吸管ストレーナーに含む	2	本	
7	消火栓金具	75mmメスネジ×65mm町野式メス	1	個	
8	中継用媒介金具	65mmメスネジ×65mm町野式メス（くさり付） キャップ受け取付け	2	個	
9	消火栓開閉金具	地下式消火栓蓋用開閉金具×1個 地下式消火栓スピンドル×1個 地上式消火栓開閉金具×1個 丸型消火栓蓋用開閉パール （日之出水道機器製）×1個	1	式	
10	吸管スパナ		2	本	
11	管そう	65mm用・直管そう （握手背負いバンド、ノズル付）	2	本	
12	ノズル	ストレートノズル23mm、26mm NV-65W・Ⅱ×2個	計4	個	
13	放口媒介金具	65mmメスネジ×65mm町野式オス 自在接取型マルチコネクタ式	4	個	
14	とび口	普通のもの1本・V字1本 グラスファイバー製	2	本	
15	金てこ		1	本	
16	剣先スコップ		1	本	
17	ホース延長用資機材	加納式ホースカー 赤 ブレーキ有 赤色ビニールカバー付	1	式	
18	二連はしご	アルミ2連 4.2m	1	台	
19	車輪止	落下防止措置	2	組	
20	消火器	自動車用（ABC粉末3kg型）	1	本	
21	ポンプ工具		1	式	
22	消防ホース （1.3Mpa以上）	綾織65mm×20m・AC町野式金具付 袴部（42cm）を赤色とし、文字等は別途協議	20	本	

別表6 軽微な変更として備えることができる附属品

No	品名	型式・規格	数量	単位	備考
1	タイヤチェーン	シングル(標準仕様を含む)	1	式	
2	分岐管	放水側接続口は65mm及び50mm併用式 ホース延長用資機材に取付け	1	個	
3	ホースブリッジ	ゴム製(収納ケース取付け)	1	式	
4	ワイヤー	当該車両をけん引できる性能を有する規格であること	1	式	
5	照明器具	LEDスタンドライト ML805×2個 バッテリー BL1860B×2個 2口急速充電器 DC18RD ライトスタンド A-58126 マックパックタイプ2 A-60517 スポンジ蓋セット品 A-60573 スポンジ底セット品 A-60567 コードリール SS-30型 発電機 EF900iS	1	式	別途協議
6	おの	グラスファイバー製	1	本	
7	掛矢		1	本	
8	ホースカバー(赤色)	ポンプ室上部のホースカバー	1	式	
9	スタンドパイプ	引上げ式・65mm用単口・長さ1m 右側吸管巻上部に取付け	1	本	

別表7 特殊装備および装備品

No	品名	型式・規格	数量	単位	備考
1	車載無線機	載せ替え	1	式	
2	消防団章		1	個	
3	赤色点滅灯(フロント)	左右各1個 WHELEN製 M2WFCR又は同等品	1	式	
4	文字記入	車両本体及びスタンドパイプなどの積載品等	1	式	
5	二連はしご用昇降装置	手動式	1	式	
6	車両上部昇降用可倒式フック		3	箇所	
7	旗立ポール		1	式	
8	ヘルメット掛用フック		5	個	
9	計器盤照明及び蛍光灯	左右各1個	1	式	
10	三角停止表示板		1	式	
11	工具セット		1	式	
12	発煙筒		1	本	

No	品名	型式・規格	数量	単位	備考
13	ブースターケーブル		1	式	
14	予備ヒューズ・電球		1	式	
15	補修ラッカー		1	缶	
16	オイル	増速器用、PT0ギアオイル用	各1	缶	別途協議
17	ドライブレコーダー	モニター付 (SDカード 64G)	1	式	
18	バックアイモニター	カメラ付	1	式	
19	無反動管そう	PL-65A ハンドル、背負いバンド付	2	本	
20	漏れ止応急バンド	マジック式 黄色	10	枚	
21	消火栓金具	75mmメスネジ×65mm町野式メス	1	個	
22	差込異径媒介	65mm×50mm	1	個	
23	差込オス媒介	65mm×65mm	1	個	
24	差込メス媒介	65mm×65mm	1	個	
25	防水シート	ブルーシート 5.4m×5.4m	2	枚	
26	携帯拡声器	レイニーメガホン TS-633R	1	個	
27	懐中電灯	ペリカンライト 2410	2	本	
28	合図灯	TRV-2H	2	本	
29	伸縮式カラーコーン	TCCP-700-R	4	個	
30	大ハンマー	大柄・長さ90mm・3.5kg グラスファイバー製	1	本	
31	トランシーバー	スタンダード製 FTH-314 (ベルト、ケース、充電器込み)	2	式	